

会 議 録

会議の名称	第1回行田市環境審議会
開催日時	平成25年7月18日(木) 午前10時00分～午前12時10分
開催場所	行田市教育文化センター みらい 第3学習室
出席者(委員)氏名	白井裕泰委員(会長) 古谷民子委員(副会長) 新井智委員 長島善江委員 飯田尚彦委員 永瀬陽一委員 肥田木光仁委員 片山裕喜夫委員 松本桂一郎委員 島澤敬次委員 渡辺正子委員 以上11名
欠席者(委員)氏名	欠席者なし
事務局	小巻環境課長 前島主幹 田沼主任
会議内容	・第2次行田市環境基本計画策定の経緯について ・第2次行田市環境基本計画(素案)について
会議資料	・次第 ・第2次行田市環境基本計画 素案 ・市民・事業者アンケート考察
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1. 開会</p> <p>○平成25年度「第1回行田市環境審議会」を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、公私ともにご多忙のところ、本審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。はじめに、本日の会議資料の確認をさせていただきます。「次第」、「市民・事業者アンケート考察」、先に送付させていただきました「第2次行田市環境基本計画 素案」でございます。また、参考資料として「行田市環境基本計画（改定版）」もご持参をお願いしております。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>本日は、11人中、11人のご出席をいただいております。従いまして審議会条例第6条第2項の規定により、本審議会は成立していることを報告させていただきます。</p>
事務局 小巻環境課長	<p>2. 挨拶</p> <p>○次第2.「挨拶」でございますが、委員の改選後初めての審議会ですので、環境課長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>【挨拶】</p>
事務局 各自	<p>3. 自己紹介</p> <p>○次第3.「自己紹介」でございますが、委員の改選後初めての審議会ですので、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>【自己紹介】</p>
事務局	<p>4. 会長・副会長の選任について</p> <p>○次第4.「会長・副会長の選任について」でございますが、審議会条例第5条の規定により、会長及び副会長の選任をいたします。選任に当たりまして事務局より案がございますので、発表させていただきます。会長に白井委員、副会長に古谷委員でございます。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 白井会長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>【異議なしの声あり】</p> <p>○議題に先立ちまして、先ほど選任されました白井会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
白井会長	<p>【挨拶】</p>
事務局	<p>5. 議題</p> <p>○それでは、これより次第5.「議題」に移ります。</p> <p>議事の進行は、審議会条例第6条の規定により、白井会長にお願いいたします。</p>
白井議長	<p>○議事がスムーズに進むようご協力お願いします。なお、本審議会は公開になっておりますが、今のところ傍聴される方はおりませんので会議録での公開のみとなります。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>議事の（1）第2次行田市環境基本計画策定の経緯について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【第2次行田市環境基本計画策定の経緯についての説明】</p>
白井議長 島澤委員	<p>○ただ今の説明に対して、質問はありますか。</p> <p>○本日配布の「行田市自然環境調査報告書」は製本がされているものの、以前いただいた「行田市自然環境調査報告書」と同じ内容であるため、改めて配布する必要はないと思います。</p>
事務局	<p>○以前配布した報告書は、簡易印刷したものになります。本日配布したものは製本後の成果品として配布しました。</p>
白井会長	<p>○以前配布されたものは議論のための資料であり、それが成果品としてまとめ、製本されたものができたのであれば、製本版を各委員に配るのは当然のことであると思います。</p>
事務局	<p>○審議会を進める上で必要かどうかを含めて、今後の検討課題とします。</p>
島澤委員	<p>○行田市自然環境調査の調査地点は4ヶ所となっておりますが、その他に調べる必要がある場所があると思います。その場所を把握</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>していますか。</p>
事務局	<p>○今回の自然環境調査地点は、前回調査との比較を行うために、前回調査と同じ地点としました。</p>
島澤委員	<p>○今後、調査対象に新たな項目を追加する可能性はあるのでしょうか。また、現在、忍川と水城公園の水質が問題になっていますが、水城公園の水質は調査しているのでしょうか。</p>
	<p>また、行田市では川まるごと再生プロジェクトが進行しており、忍川はプロジェクトの中心となっています。その一方で、忍川の魚類などの調査は一切行っていません。今回の自然環境調査は、調査地の自然が保たれているかどうかを確認するための調査であればいいのですが、この辺をどのように考えていますか。</p>
	<p>また、水質検査の調査場所はどこですか。</p>
事務局	<p>○自然環境調査については、第2次行田市環境基本計画の策定のために昨年度実施したことから、新たな項目を追加するなど再調査は行いません。</p>
	<p>また、川まるごと再生プロジェクトは、行田市の観光と産業の活性化のために行田市内にある資源を生かすプロジェクトとして、今年から立ち上がったものです。その中で河川がスポットを浴びていますが、市民の皆さんが住んでいる環境には、大気汚染、騒音、水質、河川の汚れなどいろいろな影響がありますので、総合的に施策を進めております。</p>
	<p>また、水質調査に関しては、素案12ページに市内5河川の調査結果を掲載しています。水質浄化対策については、生活雑排水対策と河川での浄化対策の2つがポイントになります。</p>
白井議長	<p>○他に質問はよろしいでしょうか。</p>
	<p>それでは、第2次行田市環境基本計画（素案）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【第2次行田市環境基本計画（素案）についての説明】</p>
白井議長	<p>○ただ今の説明に対して、質問はありますか。</p>
島澤委員	<p>○12ページに水質検査結果がありますが、水城公園でリン酸な</p>

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>どの水質調査を行う予定はありますか。</p> <p>○水城公園では、水質調査は行っておりません。水城公園については、河川ではなく公園の一部であることから、管理を担当している都市計画課へご意見を伝えておきます。</p>
島澤委員	<p>○公表されている5河川の調査結果をみると、窒素やリンはほとんどの地点で環境基準値以上になっていますが、12ページにはBODの結果しか掲載されていません。なぜでしょうか。</p>
事務局	<p>○BODについては、水質汚濁指標として最も重要な項目であると認識しているため、計画に載せております。ご指摘のとおり水質については、pH、BOD、SS、DO、MBAS、全窒素、全リンを調査し、結果を環境報告書やホームページで公表しております。環境基準よりも高い数値となっている窒素や全リンについては、今後の課題ということで、30ページの主な施策の中で対応していきたいと思っております。</p>
島澤委員	<p>○30ページのアンケート結果でも高い数値を示しているのは、「河川や池などの水の汚れ」、「河川や池などの周辺でゴミが目立つ」などです。アンケートをとった以上、それに対してどのような改善をしていくかという項目が必要になってくるのではと思います。</p> <p>また、23ページに「行田市は、利根川や荒川などの自然の恩恵を受けた美しい田園風景とともに、豊かな自然に包まれたさきたま古墳公園や古代蓮の里などの特色ある歴史と文化が息づいているまちです。」という一文ありますが、現在、利根川からの恩恵はほとんどないように思います。</p> <p>また、「今後も水と緑あふれるまちを存続させるために、市民、事業者及び市がともに力を合わせ」とありますが、忍川や水城公園の環境整備を地域の方とともに協力し合うような施策が必要であると思っております。</p>
事務局	<p>また、長野落の水質結果が悪いことに対する対策はありますか。</p> <p>○23ページの望ましい環境像に関しては、昨年からの環境審議</p>

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
白井会長	<p>会の中で議論していただきました。行田の位置づけとして、古代から続く歴史の中で変成し、利根川と荒川の影響によりこの地域が発展したであろうということやさきたま古墳群や1400年ぶりに開花した古代蓮などの文化遺産などを再認識するためにこの文言はあります。</p> <p>長野落にリンや窒素などが多い原因として農業用の肥料等が流入していることが考えられますが、支線水路までは調査を実施していません。農業については行田市の大きな産業でありますので、その中で改善していく必要があると考えます。</p> <p>○12ページの「4河川は良好な結果」としているのは、BODによって判断していますが、水質の判定はBODのみで判断できるのでしょうか。</p> <p>また、30ページのアンケート結果から市民は水の汚れがあると感じております。12ページで「水質は良好である」とするのは、違和感があります。</p>
事務局	<p>○水質の判定は項目ごとに判断する必要があります。BODは水質を判断する上で一般的に使用されていることから、BODの結果を記載しました。</p> <p>また、12ページの表記とアンケートを踏まえた考え方について、検討いたします。</p>
島澤委員	<p>○埼玉県知事は、全河川にアユが住めるようにしたいと言っています。誰もがわかる水質の基準として、どのような魚が生息しているのかが分かればいいのだと思います。</p> <p>自然環境調査結果では細かく調査をしていますが、忍川や水城公園でもこのようなデータが必要であると思います。水がきれいになったかどうかを簡単に判断することができれば、安心して子供たちが遊べると思います。</p>
白井会長 事務局	<p>○長野落が基準を超えている理由はなんですか。</p> <p>○長野落の流域は、住宅地域と農業地域が混在しており、ほとん</p>

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
白井会長	<p>どが生活用雑排水と農業用水のため、農業用水がなくなる冬季には水量が少なくなります。その結果、生活用雑排水中心の水が滞留してしまい、水質が悪くなってしまうと考えています。</p> <p>○そうなると下水道の普及率によって水質が改善されるということですか。</p>
事務局	<p>○市内は下水道区域と浄化槽区域に分かれています。下水道区域の中でも浄化槽を使っている場合がありますので、下水道につなげる働きかけをし、下水道普及率を上げていくことが改善に繋がると考えます。また、浄化槽区域については、生活雑排水も処理する合併浄化槽に転換することが必要と考えます。</p>
島澤委員	<p>○長野落の水質を少しでも良くするための対策をとらなければならないと思います。ところが調査結果では年々悪化しており、放置していると言われても仕方がないと思います。このことは忍川や水城公園でも言えます。アユが住める川にするために水質改善に力をいれていただきたいと思います。</p>
新井委員	<p>○河川の状況を評価する時は、見た目の汚れやごみもあり、環境基準だけで議論するのは困難ですので、分かりやすく表現していただきたいと思います。</p>
飯田委員	<p>○34ページのアンケート調査結果とそれに対する環境指標がマッチングしていないような気がします。</p> <p>また、18ページの水道・ガスの使用状況について、地下水の使用状況は見なくていいのでしょうか。</p> <p>また、二酸化炭素排出の観点から見た場合、プロパンガスを外した理由は何ですか。</p>
事務局	<p>○1つめの質問については、事務局でも苦慮した部分ですが、アンケート結果を踏まえた環境指標を設定することが困難であるため、この環境指標となりました。</p> <p>2つ目については、市では地下水の状況を把握しておりませんので、埼玉県に確認します。</p> <p>3つ目については、プロパンガスは各個人が業者と契約して使</p>

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
	用しております。市内には多くのプロパン業者があり、中には市外の業者と契約している場合もありますので、統計を取ることが困難であると考えます。
飯田委員	○そうすると都市ガスを載せた理由は何ですか。
事務局	○都市ガスについては統計が取れているため、記載しています。
新井委員	○誤解がないように何かコメントを入れたらよいのではないのでしょうか。
事務局	○検討します。
永瀬委員	○行田市内のプロパンガス業者のデータを集めてはどうでしょうか。
白井会長	○行田市における都市ガスの普及率が分かれば、プロパンガスの量もおおよそ推測できると思います。
事務局	○都市ガスの普及率については、次回までに調べて報告します。
新井委員	○28ページ以降の「現状と課題」は、全体的に現状だけの項目が多いように思います。
	また、29ページに「安全性の高い薬剤」という表現がありますが、有害物質に関する項目ですので、有害物質という表現を使用した方がよいのではないのでしょうか。
白井会長	○有害物質は少なからず毒性があると思います。そのため、使い方や使用量に関することが大事ですので、「安全な使用法」というような表現がよいと思います。
島澤委員	○45ページに「自転車を利用した交通手段の整備」とありますが、具体的にどのような方法なのでしょう。
事務局	○道路整備については、なかなか進んでいない現状です。しかしながら、自転車が通行できる環境を少しでも増やしていくことは重要と認識しておりますので、記載してあります。
新井委員	○「有害物質の適正使用・排出抑制」について、現行の基本計画では基本方針になっており、更に重点的施策となっておりましたが、第2次計画では基本方針の下での主な施策になっています。なぜでしょうか。

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	○「有害物質の排出」に関しては、大気関係と施策の部分で多く重なることから、「大気環境の保全」に含めました。
白井会長	○今後の課題となっていく項目である「蓄エネ」について、素案の施策で対応できますか。
事務局	○設備自体が高額であるという現状があり、計画に表記できるまでに至っていない状況です。
白井会長	○今後10年の間には技術が相当進んでくることが考えられるため、概念だけでも挙げておく必要があると思います。
事務局	○検討いたします。
新井委員	○35ページの環境指標「リサイクル率」の目標値25%の根拠はありますか。
事務局	○今後のごみ処理広域化により、行田市のリサイクル品目が変わる可能性があります。それを想定した値となっています。
新井委員	○35ページに不法投棄対策を実施することが挙げられていますが、環境指標を不法投棄の件数としてはどうでしょうか。
事務局	○不法投棄の対応は土地の管理者が中心となって行うため、全体の件数の把握が困難です。
新井委員	○41ページの親水空間の創出について、親水空間に関する環境指標は設定できますか。
事務局	○検討いたします。
白井議長	○他に質問はよろしいでしょうか。 それでは、その他について事務局から説明をお願いします。
事務局	【今後の策定の流れについての説明】
白井議長	○以上をもちまして、議事の全てが終了いたしました。 これをもちまして、議長の職をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局	6. 閉会 ○白井会長、委員の皆様、長時間にわたりご審議いただきまして、

発 言 者	会の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>誠にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第1回行田市環境審議会を閉会とさせていただきます。</p>